

し	ず	か	さ	や		
---	---	---	---	---	--	--

岩	に	し	み	入	る	
---	---	---	---	---	---	--

せ	み	の	声			
---	---	---	---	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--

学
年

小
三

氏
名

課題解説

俳句

俳聖と呼ばれる松尾芭蕉の代表作の一つ。山形市の立石寺で詠まれたもので奥の細道に収録されている。岩に染みとおっていくような、静けさを一層際立たせる強い蝉の声が聞こえてくるような一句。